

明治期日欧言語交流史の一研究

—『英語節用集』所収二字漢字表記語の『写真石版
附音挿図英和字彙』における収載状況をめぐって—

坂 本 浩 一

はじめに

現代日本語語彙を構成する語彙グループの中で、漢語語彙の一群は量的に主要な部分を占めるのみならず、質的にもその豊かな造語機能等から欠かせぬ根幹部分を形造っているといつてよい。その現代漢語語彙には、明治期のいわゆる新漢語造出ブームにおいて創造され日本語社会に定着していったものが少なくない。一方、翻訳世界等で続々と生産されながら、淘汰され消えていった漢語群もまた多い。それら日本語語彙史上における激動の一時期を描述する上で、明治期対訳辞書資料群の言語資料としての有用性については、もはや言を待たないところである。

稿者は、そのような明治期の対訳辞書資料中から『英語節用集』を取り上げて、所収語彙についての集中的な調査分析を重ねてきた^(註1)。ここでは、『英語節用集』に収載された二字漢字表記語について、その組となる対応英語語形を『写真石版附音挿図英和字彙』^(註2)中で検索し、当該英語見出し項目訳語中にその二字漢字表記語が見られるかどうかについて調査した結果をめぐって報告を行うこととする。

いわゆる第一次英学書ブーム^(註3)明治6年に第Ⅰ版が刊行された『附音挿図英和字彙』が、後続の明治期対訳辞書資料群に少なからぬ影響を与えていることは、これまでの先行研究において既に指摘が重ねられたところである^(註4)。

主幹資料となる『英語節用集』は、『附音挿図英和字彙』第Ⅰ版出版後10年ほど経った明治17年、いわゆる第二次英学書ブーム期に刊行されたものである。『附音挿図英和字彙』のシリーズ自体は第Ⅱ版が明治15年に出ており、今後第Ⅱ版との比較調査を進める必要があるが、見逃せないのは初版の再刷本・縮刷本

が同ブーム期においても陸続と刊行されていたことである^(注5)。『写真石版附音挿図英和字彙』もまた、その中の一書ということになる。

本稿においては、この第二次英学書ブーム期という一時代において世に刊行されたという意味合いから、『英語節用集』と『写真石版附音挿図英和字彙』の両辞書を取り上げた次第である。加えて後述するように『漢英対照いろは辞典』と『漢語英訳辞典』も合わせて調査結果を報告することとしたい。

なお、『英語節用集』の書誌・概要説明については、原口（1991）他を参照されたい^(注6)。

1 調査方法

まず『英語節用集』所収全914項目の各訳語^(注7)の中から二字漢字表記語477を抽出し、各々の対を成す英語（句）を『写真石版附音挿図英和字彙』について検索し、当該英語見出し項目中での訳語の一致状況を調査した。

2 全体的なありさま

『英語節用集』の二字漢字表記語について、稿者は先行調査において高橋五郎編『漢英対照いろは辞典』（1988）、また J.H.ガピンス編『漢語英訳辞典』（1889-1992）との照合作業を行っている^(注8)。『漢英対照いろは辞典』と『漢語英訳辞典』における調査は当該の二字漢字表記語がその辞書資料の見出し語として立項されているかの調査であり、英語側の一致状況についてまでは未照合であるが、その成果も合わせて示せば、全体の集計結果は表1のようになる^(注9)。

表1中、たとえば「宗応」部を見てみれば、第一次英学書ブームの産物である『附音挿図英和字彙』第I版での訳語一致○型は33.6%とおよ所収部内の三分の一にとどまるのに対し、第二次英学書ブーム期の『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』においては77.6%・77.2%と、高い比率で訳語が対訳辞書の見出し語に採択されていることなどが分かる。そこには、当期における訳語を中心とした漢語語彙の増産造出といった日本語彙史上の一大激動期の一端を窺うことができるのである。

3 所収型別に見た整理分析

以下、『写真石版附音挿図英和字彙』、『漢英対照いろは辞典』、『漢語英訳辞典』における収載状況を総合して、『英語節用集』所収部別に語彙リストを整理して

表 1

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
各部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
所収部内比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『写真石版附音挿図英和字彙』〔○型〕項目数	0	6	84	25	18	17	6	3	159
〔○型〕二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.6%	38.5%	32.7%	23.6%	42.9%	30.0%	33.3%
『写真石版附音挿図英和字彙』〔△型〕項目数	1	2	134	29	20	46	7	6	245
〔△型〕二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	53.6%	44.6%	36.4%	63.9%	50.0%	60.0%	51.4%
『写真石版附音挿図英和字彙』〔一型〕項目数	2	0	32	11	17	9	1	1	73
〔一型〕二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	12.8%	16.9%	30.9%	12.5%	7.1%	10.0%	15.3%
『漢英対照いろは辞典』立項〔○型〕項目数	2	6	194	52	45	54	10	9	372
立項〔○型〕二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.6%	80.0%	81.8%	75.0%	71.4%	90.0%	78.0%
『漢英対照いろは辞典』不立項〔一型〕項目数	1	2	56	13	10	18	4	1	105
不立項〔一型〕二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.4%	20.0%	18.2%	25.0%	28.6%	10.0%	22.0%
『漢語英訳辞典』立項〔○型〕項目数	2	6	193	46	41	51	10	10	359
立項〔○型〕二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.2%	70.8%	74.5%	70.8%	71.4%	100.0%	75.3%
『漢語英訳辞典』不立項〔一型〕項目数	1	2	57	19	14	21	4	0	118
不立項〔一型〕二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.8%	29.2%	25.5%	29.2%	28.6%	0.0%	24.7%

示しながら、検討して行くことにする。

3-1 『写真石版附音挿図英和字彙』において〔○〕型の項目

『写真石版附音挿図英和字彙』において〔○〕型となっている項目は、全二字漢字表記語477語中159語、33.3%である。その漢字表記語を、後代資料『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』における日本語見出し採択状況によってさらに細かく分類し整理してみると、次の表2のようになる。例えば〔○○ー〕型は、『写真石版附音挿図英和字彙』で〔○〕（訳語掲出）、『漢英対照いろは辞典』

典』で〔○〕（見出し語立項採択）、『漢語英訳辞典』で〔－〕（見出し語不採択）といった要領である^(注10)。

表 2

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	学術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
各部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
所収部内比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
〔○○○〕型項目数	0	4	68	20	17	15	4	3	131
〔○○○〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	50.0%	27.2%	30.8%	30.9%	20.8%	28.6%	30.0%	27.5%
〔○○－〕型項目数	0	1	5	3	1	1	1	0	12
〔○○－〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	12.5%	2.0%	4.6%	1.8%	1.4%	7.1%	0.0%	2.5%
〔○－○〕型項目数	0	0	7	1	0	0	1	0	9
〔○－○〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	0.0%	2.5%	0.6%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.0%
〔○－－〕型項目数	0	1	4	1	0	1	0	0	7
〔○－－〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	12.5%	1.6%	1.5%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.5%
計	0	6	84	25	18	17	6	3	159
二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.6%	38.5%	32.7%	23.6%	42.9%	30.0%	33.3%

なお、『写真石版附音挿図英和字彙』で〔○〕となる159項目全体において見た場合の、〔○○○〕・〔○○－〕・〔○－○〕・〔○－－〕各型の比率を順に示せば、82.4%・7.5%・5.7%・4.4%となる。〔○○○〕型の占有率の高さは、『写真石版附音挿図英和字彙』所収訳語が後続辞書の所収訳語に高率で共通することを示しているのであって、当該辞書が当代の英和対訳辞書におけるひとつのスタンダードとして版を重ねた事実を良く物語る結果とも言えよう。

それでは以下、各型について語彙リストを提示しながら記述を進めて行きたいと思う。

3-1-1 〔○○○〕型

表2にあるように全131項目となるが、所収部別に整理してみれば次の通りである。以下、各所収部内では『英語節用集』における立項順に並べて示すこととする。

【学術】化学/Chemistry ← Chemistory* 数学/Mathematics 語

学/Philology ← Phylology* 文学/Literature 【宗応】地獄/Hell
 偶像/Idol 慈悲/Grace ① 靈魂/Soul 感覺/Sensation 氣
 力/Vigour 禁止/Confinement 性質/Character 信用/Belief
 異說/Dissent 議論/Debate 不朽/Perpetuity 題目/Thesis
 教会/Congregation 熱心/Zeal 名目/Name 心痛/Pang 自
 殺/Suicide 空虛/Vacuum 洗礼/Baptism 慈悲/Grace ②
 清淨/Purity 正直/Justness ← Jastness* 民情/Nationality ①
 寺領/Parish 說法/Preaching 魔法/Incantation 天命/Provi-
 dence 自負/Self-confidence 獨立/Independence 改宗/Con-
 vert 便利/Convenient 會議/Convention ① 永続/Continued
 爭論/Contention 嫉妬/Jealousy 侵入/Invasion ← Invation*
 一般/General 結合/Coalescence 音樂/Music 編輯/Compila-
 tion 内部/Interior 公会/Parliament ← Partiamment* 生活/
 Life 骸骨/Skeleton 名譽/Honor 關係/Consequence 戒
 心/Caution 旅行/Travel 教育/Education 比較/Compare
 妄想/Fanciful 石碑/Monument ← Manumend* 遺物/Relics
 習慣/Custom ① 攻擊/Attack 餓死/Starve ← Staved* 抵抗/
 Resist 戰爭/Warfare 自由/Liberty 才智/Intelligence 無
 形/Spiritual 道理/Reason 一揆/Insurrection 世界/World
 混沌/Chaos 名聲/Reputation 創造/Creation 【人官】隱者/
 Eremite 農民/Peasant 商人/Merchant 貴族/Noble-man
 国民/Nation 兵卒/Soldier 伶人/Musician 奴隸/Slave 囚
 人/Prisoner 老人/Oldman 子孫/Offspring 医者/Physician
 ① 兄弟/Brother 姊妹/Sister 叔父/Uncle 女王/Queen ←
 Queen* 宰相/Prime Minister ← Prim Minister* 盲目/Blind
 博士/Professor 主宰/Ruler 【政法】民法/Civil-law 刑法/
 Criminal-law 民政/Democracy 平安/Peace ① 政府/Govern-
 ment 租稅/Taxation 革命/Revolution ② 王国/Kingdom
 帝国/Empire 市区/Municipality 民情/Nationality ② 管轄/
 Govern 政法/Policy ② 內閣/Cabinet 国法/Municipal-law
 商議/Negotiation 命令/Order ② 【政応】同盟/Alliance 補任/
 Appoint-ment 結合/Combination 默許/Tacit-consent 無罪/
 Inno-cence 義氣/Patriotism 反逆/Rebellion 服從/Homage
 交誼/Friendship 平安/Peace ② 特許/Privilege ← Privilage*
 未決/Problematic 規則/Rule 廉節/Temperance 許容/Toler-

ation 【堂処】鐘樓/Belfry 藥舗/Apothecary-shop 宮殿/Palace
 病院/Hospital 【年歴】歴史/History 服従/Subjection
 総計/Totality

〔〇〇〇〕型に属する二字漢字表記語は、今回調査対象となった4資料全てにおいて掲出がなされるものであり、当代の対訳辞書世界では比較的広く通用していた語彙であると見て良いだろう。ただし、漢字表記語として子細に検討してみる上では、果たして当代において字音語としてどれほど通用し定着していたのかについては、慎重にならざるを得ない。

つまり、例えば上記の訳語中、下線を引いたものについては、『写真石版附音挿図英和字彙』において付されるルビが現在通用する字音形ではなく、いわゆる和らげとして意味を補う和語を含むルビが付されている。次のような具合である。以下、()中に『写真石版附音挿図英和字彙』において右ルビとして付されたものを適宜挙げて示す^(註11)。

侵入 (オシコミ) 習慣 (ナラワシ) 攻撃 (セメタテ) 餓死 (ウエジニ)
名声 (キコヘ) 囚人 (メシウド) 盲目 (メクラ) 結合 (ムスビアフ) 交誼 (マジハリ)

これらには、見慣れぬ新しい漢字表記語について字音表示よりも意味の補いを優先した場合と、社会的に当該漢字表記語にかなり定着した和語ルビであった場合とが混在するものと考えられよう。例えば、各々の字音語形の初出用例年代を『日本国語大辞典』第2版で検したときに、「侵入」・「習慣」・「結合」・「交誼」などは日本における初出用例の年代が新しいものであり、前者としての事情を考え得るし、また「攻撃」・「餓死」・「名声」・「囚人」・「盲目」などは比較的初出年代が古くに遡ることから、後者の気味が強いように思われる。このあたりについては今後、近世節用集類、明治期漢語辞書類等を広く参看する必要があるだろう。

いずれにしても、こうしたルビによる漢字表記語語義の補助的説明方式は前代から多く見られたもので、当代においてはそれがいわゆる新漢語の氾濫に対する啓蒙的措置としてさらに積極的に活用されたものである。『写真石版附音挿図英和字彙』においても、その方針が実質上の総ルビ方式という形で採用されているわけである。

また、破線部のものには、「伶人 (ガクニン)」のように当該漢字表記語の字音形ではない字音語形が示してあり、これも低教養層を含む読者に対する辞書編者による同趣の啓蒙的配慮として、「伶人」よりは一層平易な「楽人」がルビで補助的に呈示されたものであろう^(註12)。

なお、「女王」については『写真石版附音挿図英和字彙』ルビおよび『漢英対

照いろは辞典』語音形表示がともに「ニヨワウ」を示すなど、現在の「ジョオウ」音形との相違が見られる。

3-1-2 〔〇〇ー〕型

全12項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【學術】神学/Theology 【宗応】樂園/Paradise ← Paradise* 固執/
Bigotry 後住(寺ノ)/Provisor 供物/Sacrifice 神経/Nerve
【人官】邪蘇/Christ 巫女/Witch 詩家/Poet 【政法】性法/Law
of nature 【政応】種属/Race① 【堂処】墓地/Church-yard

『漢語英訳辞典』の全3巻本編1125頁という規模分量を考えると、同書だけに収録されていないこの群の存在というのは、やや意外といった感はある。この中、『写真石版附音挿図英和字彙』で「墓地」には「ハカチ」の和語混入ルビ、「詩家」に「シジン」の非該字字音語語形呈示が見られる。なお、「詩家」については、『漢英対照いろは辞典』に「しいか」の語音形が示されており、現在『広辞苑』第5版等の国語辞書類が挙げる「シカ」音形との違いが見られる。

3-1-3 〔〇ー〇〕型

全9項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗応】智慧/Wisdom 楽譜/Music-book 改正/Meliority 狡猾/
Cunning 愛情/Love 愛情/Inclination 天使/Angel 【人官】
悪漢/Wretch 【堂処】本寺/Mother-church

『写真石版附音挿図英和字彙』においては、上記項目中「悪漢」に「ワルモノ」の和語ルビが見られ、「狡猾」には「ワウチヤク」の非該字字音語語形呈示が見られる。

3-1-4 〔〇ーー〕型

全7項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【學術】詩学/Poesy 【宗応】虚忘/Absurd 有体/Corporeal 不正/
Wrong 略説/Summary 【人官】歯医/Dentist 【政応】同情/
Sympathy

この中「虚忘」に対して、『写真石版附音挿図英和字彙』は「ウソ」の和語ルビを付しており、また「有体」には「タイアル」の訓み下し形が付されている。これなどは、当代の欧文翻訳世界が漢文訓読世界の基盤の上で展開したという密接な関係の一端を窺わせるところである。

3-2 『写真石版附音挿図英和字彙』において〔△〕型の項目

『写真石版附音挿図英和字彙』の対応する英語見出し項目の掲出訳語中に当該二字漢字表記語が掲出されないのに対して、他の2辞書では掲出されるというパターンである。先ず全245項目をまとめて見ると、次の表3のようになっている。

表 3

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
各部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
所収部内比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
〔△○○〕型項目数	0	1	85	16	16	31	4	5	158
〔△○○〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	12.5%	34.0%	24.6%	29.1%	43.1%	28.6%	50.0%	33.1%
〔△○ー〕型項目数	0	0	13	6	1	4	0	0	24
〔△○ー〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	0.0%	5.2%	9.2%	1.8%	5.6%	0.0%	0.0%	5.0%
〔△ー○〕型項目数	0	1	9	2	0	2	1	1	16
〔△ー○〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	1.6%	3.2%	1.3%	0.0%	2.2%	2.5%	5.6%	1.8%
〔△ーー〕型項目数	1	0	27	5	3	9	2	0	47
〔△ーー〕型二字漢字 表記語内比率	33.3%	0.0%	10.8%	7.7%	5.5%	12.5%	14.3%	0.0%	9.9%
計	1	2	134	29	20	46	7	6	245
二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	53.6%	44.6%	36.4%	63.9%	50.0%	60.0%	51.4%

ここで、『写真石版附音挿図英和字彙』において〔△〕となる245項目全体で見ると、〔△○○〕・〔△○ー〕・〔△ー○〕・〔△ーー〕各型の占有比率は、64.5%・9.8%・6.5%・19.2%となる。他の2辞書で当該二字漢字表記語が見出し立項されない〔△ーー〕型の比率が、先に3-1で取り上げた際に〔○ーー〕型が〔○ー〕型全体で4.4%であったのに比べて数値が高くなっている。ここで〔△ー〕型中では〔△○○〕型が大勢であることは紛れもない事実であり、『写真石版附音挿図英和字彙』の所収にかかわらず2書が、いや『英語節用集』における掲出を入れれば3書がその訳語を掲出したことはもちろん着目すべき点であるのだが、一方で『写真石版附音挿図英和字彙』非所収訳語が他辞書においてもまた比較的収載率が低くなる傾向にあるということを示したものと捉えれば、これもまた興味深く見逃せないところでもあろう。

それでは、各型について見て行くこととする。

3-2-1 〔△○○〕型

〔△○○〕型全158項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【學術】哲学/Philosophy ← Philosophy* 【宗応】宗教/Religion 天堂/Heaven ① 恭敬/Worship 私慾/Selfishness 眞実/Real
 社会/Society ① 克己/Self-denial 蘇生/Revive 感動/Impres-
 sion 驕慢/Pride 信仰/Devotion 原因/Cause 結果/Effect
 宗徒/Apostle 道德/Morality 觀念/Idea 虛無/Void 悲痛/
 Lamentation 憂愁/Sorrow 真理/Truth 感応/Feeling ①
 術数/Policy ① 方便/Mean 偏執/Bias 施物/Almonry 集
 会/Assemble 除地/A'llodium 金言/Aphorism 讚美/Appro-
 bation 憐愍/Pity 記憶/Memory 名辭/Term 昌盛/Pros-
 perity ← Prosperity* 勳勞/Merit 不幸/Unfortunate 奇遇/
 Accident 誠信/Faith 驚愕/Wonder 瑞相/Lucky-omen ←
 Luchy-omen* 門派/System ← Sistem* 淨土/Purgatory 究
 竟/Ultimate ← Ultimote* 眞如/Reality 解釋/Explanation
 神聖/Holiness 絕對/Absolute 發明/Invention 注意/Atten-
 tion 奇談/Paradox ② ← Padox* 愚痴/Obtuseness 高言/
 Rant 願望/Requisition 講談/Lecture ← Pecture* 差別/Dif-
 ference 平等/Equality ← Eequality* 歸服/Obedience 一致/
 Consort 落涙/Shed-tear 守護/Conservation 裁判/Judicature
 改革/Revolution ① 衰微/Decline 理論/Declamation 和睦/
 Concord 社中/Company 單純/Similar 臆説/Hypothetical
 悅服/Obey 堪忍/Abstain 驕慢/Self-conceit 拝礼/Supplica-
 tion ← Sppllication* 文明/Civilization 意思/Will 法則/
 Method 公平/Conscientiously 支配/Domination 死骸/
 Corpse ← Corse* 葬礼/Interment 慣習/Habit 風俗/Manner
 全能/Almighty ← Almighty* 異教/Gentilism 降生/Incarnation
 有情/Sentient 非情/Insensible 【人官】僧正(邪教ノ)/Bishop
 朋党/Party ① 天狗/Cherubim 紳士/Gentle-man 平民/Laity
 皇族/Royal-family 官員/Officer 長官/President 出家/Monk
 眷属/Kin 元祖/Originator 法師/Clerk 兩親/Parent 叔
 母/Aunt 門徒/Member ① 医師/Physician ② 【政法】国家/
 State 權利/Right 法制/Law ① 軍律/Martial-law 国政/

Polity 憲法/Consti-tution 参議/Privy councillor 布達/Proc-
lamation 広告/Notification 指令/Order ① 法律/Law ②
規則/Regulation ① 建白/Memorial 請願/Petition 家政/Eco-
nomics 誤用/Misuse 【政応】徒党/Party ② 律令/Canon
約定/Compact 要路/Compendium 完全/Complete 連絡/Con-
nection 允許/Consent 抑制/Control 公会/Convention ②
節操/Continenace 勢力/Energy 独断/Dogma 結局/Goal
教唆/Instigation 償還/Payment 堅忍/Perseverance 口実/
Pretension 主義/Principle 問題/Problem 遁辞/Quibble
理由/Rationale ← Rational* 贅言/Redundancy 駁撃/Refutation
条例/Regulation ② 会員/Member ② 隠遁/Seclusion 撰択/
Selection 定論/Theorem 理論/Theory 与論/Public-opinion
弁理/Transaction 【堂処】首府/Capital 旅館/Hotel 関税/Cus-
tom ② 銀行/Bank 【年歴】年代/Age 闘争/Struggle ② ←
Straggle* 帰化/Naturalization ← Naturali-gation* 事実/Fact
社会/Society ②

上記中に関するものには、当代漢語における特徴の一つでもある字順転倒語形が観察される場合があった。『写真石版附音挿図英和字彙』では「事実」に関して「実事」の字順転倒形が見られ、「理論」・「闘争」については類義語の転倒形「法方」「争競」が掲出されるなど、当代の変化が激しい訳語世界の内情を窺わせるところである。

訳語創造の過程で未だ「語」への途上にある「句」レベルでの掲出もまた当代対訳辞書の初期のものに多く見られる現象である。上記リスト中では「絶対」「奇談」・「帰化」において『写真石版附音挿図英和字彙』はそれぞれ「完キ限ナク定レル随意ナル自主ノ」・「奇怪ニ似テ反テ道理アル説 奇怪ノ話」・「外国人ヲ戸籍ニ入ル事」の記述を挙げており、「問題」については、「問(トヒ) 題(ダイ)」と、結合すれば現代通用の語形という状態を示していた。

また、中には『写真石版附音挿図英和字彙』が「記憶」「臆説」に対応する項目で「記憶」「憶説」と当代ではよく交替が見られる漢字を含むものを用いているだけといった場合もあるし、「憐愍」項に「憐憫」と現代通用の漢字使用語形で挙げるとする場合もあり、全くの訳語不掲出で無関係という事情ではないものも見られる。「裁判」項は「裁判ノ権 裁判所」とあり「○」扱いとしても構わないのかも知れないが、ここではひとまず「△」として処理しておいた。

3-2-2 〔△○ー〕型

全24項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗応】常住/Unchangeable 無常/Changeable 偽計/Deceit ←
Deceit* 成効/Result 預言/Prophecy 強欲/Lust 廢滅/
Ruin 演説/Speech 牢獄/Jail 進化/Evolution 出板/Edi-
tion 運命/Destiny 元始/Beginning 【人官】外道/Heresy
惡魔/Satan 幽霊/Sprite 弁者/Eloquent 牧師/Pedagogue ←
Pedagogue* 坊主/Monastic 【政法】動議/Motion 【政応】非議/
Reproach 詭弁/Sophism 競争/Struggle ① 発動/Act

この中、『写真石版附音挿図英和字彙』には「出板」について「出版」の現代
通用の用字が見られた。「詭弁」については、『日本国語大辞典』第2版で江戸初
期日本漢文の用例が挙がるものの、『漢英対照いろは辞典』においても「(無益
の弁舌を逞うする事)」の注記が付けられるほどに、当代においては他のいわゆ
る新漢語と同列の扱いがなされる事情が見受けられる。『写真石版附音挿図英和
字彙』では「功辯 詭論」と2語が掲出されるが、それぞれの一字を結合させ
ると「詭弁」が浮かび上がるといった按配である。

3-2-3 〔△ー○〕型

全項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【學術】科学/Science 【宗応】誘惑/Temptation 正義/Justice ①
上天/Heaven ② 刑罪/Punishment 外部/Exterior 有形/
Physical 悔改/Repentance 情緒/Emotion 正教/Orthodox
【人官】信者/Believer 碩儒/Polymathy 【政応】正義/Justice ②
中裁/Reconciliation 【堂処】市街/Street 【年歴】人種/Race ②

『日本国語大辞典』第2版で『西国立志編』が日本語初出用例となる「誘惑」
については、『写真石版附音挿図英和字彙』で「惑ス事 誘フ事 試ス事」とあ
り、記述中に「惑」「誘」の字が見られる。

また「信者」については、「信士(シンジャ) 耶蘇門徒(ヤソモント)」と『写
真石版附音挿図英和字彙』では訳語「信士」に非該字字音語ルビとして「シン
ジャ」が挙げられている。

3-2-4 〔△ーー〕型

全47項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗哲】秘教/Esotericism 【宗応】怒恚/Rage 画像/Portrait 預
知/Prescience ← Precience* 味趣/Taste 邪執/Prejudice 謬

信/Superstition 崇奉/Adulation ← Adration * 信心/Spirituality
 布弘/Propagation 信約/Credit 執意/Volition 無碍/Unconditional ← Unconditioneal* 永存/Persistence 輪廻/Transmission
 敬謹/Respectful 天真/Natural 定道/Predestination 心意/Mind 不能/Impossible 推理/Inference 原素/Elements
 激因/Stimulus 智覚/Feeling ② 殖民/Settled 習成/Factitious 理想/Ideal 拝像/Idolatry 【人官】婦女/Woman
 諸生/Scholar 教官/Teacher 逸士/Hermit 蕃民/Savageness 【政法】君政/Monarchy 機制/Mechanism 体制/Organization ← Oganization* 【政応】内政/Administ-ration 反情/Antipathy
逆説/Paradox ① 妄論/Paralogism 公準/Postu-late 預察/Presumption 自護/Self-defence 逆理/Unreasonable ← Anrea-sonable* 漸化/Variation 【堂処】貧院/Alms 屋宇/Edifice

この群においては、『写真石版附音挿図英和字彙』で語レベルでなく句レベルでの扱いとなっているものが散見する。「秘教」・「預知」・「永存」・「定道」・「不能」・「逆説」に関して、「秘密（ヒミツ）ノ教（オシヘ）」・「豫メ知（シル）事」・「固執テ居事 堅ク守ル事」・「預メ定ル事 命数ニ預定アリト言フ説」・「能ザル」・「奇怪ニ似テ反テ道理アル説 奇怪ノ話」と句レベルでの記述が見られるのである。これらは前述のように訳語安定までの過程で生じた現象と捉えて良いと思われる。

なお、上記中「心意」については『写真石版附音挿図英和字彙』では「心（コ、ロ）意（コ、ロ）志 存意 趣意 情願 嗜好 記憶（キオク）智慧」とあり、第1訳語と第2訳語が結合すれば「心意」となるといったところであり、『英語節用集』が果たしてそれを実行して「心意」を挙げるに至ったのかは全く定かではないが、該語の背景を探る上で興味深い記述である。また、第7訳語に示されている「記憶」については、3-1-1で取り上げた際に「記憶」の用字が見られることを報告したが、こちらの用字法が混在していることも確認できた。今後該辞書を利用して行く上で注意すべき点であると言える。

3-3 『写真石版附音挿図英和字彙』において〔一〕型の項目

『写真石版附音挿図英和字彙』に対応する英語が見出しとして掲出されなかったものである。日本語側の問題というよりは英語側では、例えば「Assistant vice minister」・「Governor of department」等が立項されないなど、派生語レベル、運用レベルで英語（句）の解釈が可能なのものがほとんどであって、原

則として単語が見出しとなる対訳辞書の形式上〔一〕型で処理されたものが多い。しかし、〔〇〕型となっている中には複合語・熟語・連語等として立項されている場合もあるので、収載基準として例えば使用度が高いものがそうして収載される事情にあったということも考慮する必要がある。

〔一～〕型全体のありさまは、次の通りである。

表 4

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
各部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
所収部内比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
〔一〇〇〕型項目数	2	0	20	6	8	3	0	1	40
〔一〇〇〕型二字漢字 表記語内比率	66.7%	0.0%	8.0%	9.2%	14.5%	4.2%	0.0%	10.0%	8.4%
〔一〇一〕型項目数	0	0	3	1	2	0	1	0	7
〔一〇一〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	0.0%	1.2%	1.5%	3.6%	0.0%	7.1%	0.0%	1.5%
〔一一〇〕型項目数	0	0	4	1	0	0	0	0	5
〔一一〇〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	0.0%	1.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
〔一一一〕型項目数	0	0	5	3	7	6	0	0	21
〔一一一〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	0.0%	2.0%	4.6%	12.7%	8.3%	0.0%	0.0%	4.4%
計	2	0	32	11	17	9	1	1	73
二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	12.8%	16.9%	30.9%	12.5%	7.1%	10.0%	15.3%

『写真石版附音挿図英和字彙』で〔一〕となる73項目を全体として見た場合の、〔一〇〇〕・〔一〇一〕・〔一一〇〕・〔一一一〕各型の比率を順に示せば、54.8%・9.6%・6.8%・28.8%となる。つまり、〔〇～〕型内部における〔〇〇〇〕型82.4%・〔〇一一〕型4.4%、また〔△～〕型内部の〔△〇〇〕型64.5%・〔△一一〕型19.2%と、それとここでの〔一〇〇〕型54.8%・〔一一一〕型28.8%とを並べて見れば、『写真石版附音挿図英和字彙』収載の有無と他辞書収載の有無とは明らかな関連性なり傾向なりを見て取ることが出来るものとする。

『写真石版附音挿図英和字彙』に収載されるだけの訳語には、当代の対訳辞書資料における熾烈な訳語間の競争における存在感の強さを、そしてそうでないものには、他の対訳辞書中でも収載に及ばない迫力不足とを、そこには感じ取ることが出来るのである。

そこで、いま取り上げるべきことは、『英語節用集』というわずか914項目の小語彙集とでも呼ぶべきものに、そもそも今回調査で当代大規模辞書で「一」扱いとなるような訳語を織り込む必要があったのかということであろう。そこには、『英語節用集』が啓蒙性と専門性という矛盾する性格を孕み持ってしまうている事情が大きく関与している。

第二次英学書ブーム期に便乗して企画されたものと見られる『英語節用集』は、『哲学字彙』を多く利用するなど専門用語を数多く収載しながらも、それを提供すべき読者はその専門用語を解さぬ田舎の低教養層であったこと、つまり新たな時代の新たな専門用語の数々を啓蒙的に供給することを刊行の趣意骨子としたことが編者緒言からも分かる。結局、専門性と啓蒙性のバランスを保とうとしながらも、逆にその矛盾する二つに引き裂かれる『英語節用集』の内情がそこには浮かび上がってくるのである。

それでは、各型についての語彙リストを挙げて行きたいと思う。なお、『英語節用集』所収二字漢字表記語と『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』の収載状況については、以前報告を行ったことがある^(註13)。合わせて参照されたい。

3-3-1 〔-〇〇〕型

全40項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗哲】 仏教/Buddhism 神道/Shintoism 【宗応】 現世/Present-world 木像/Wooden-idol 悪業/Evil-deed 寓言/Phenakism
 利用/Utility 怠惰/Neglectedness 故郷/Native-place 客舎/Public-house
 練熟/Masterliness 後悔/Contriteness 行状/Comportment 野蛮/Barbaric
 遍歴/Extravagated 基礎/Founded 誘引/Enticement ← Exticement* 精進/Religious-abstinence
 ← Religious-abstnence* 自滅/Self-destruction 独学/Self-educated
 教化/Humanization 天賦/Implanted 【人官】 化身/Avatar 学者/Learned-man
 巡査/Police-man 学士/Scientist 聖人/Holy-man 神仙/Genii 【政法】 政權/Political-right
 政法/Political-law 行政/Executive-power 立法/Legislative-power 虐政/Cruel-Government
 県令/Governor of province ← Governor of provinc* 除籍/Denationalization 法式/Modus
 【政応】 腕力/Physical-force 虚誉/Vain-glory 全権/Absolute-power 【年歴】 建国/Nationalization ← Nationali-gation*

視点を变えて、『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』で見出し立項された〔～〇〇〕型全て、即ち〔〇〇〇〕・〔△〇〇〕・〔-〇〇〕を総合して見てみると、

次のようになる。

表 5

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
各部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
所収部内比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
〔○○○〕型項目数	0	4	68	20	17	15	4	3	131
〔○○○〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	50.0%	27.2%	30.8%	30.9%	20.8%	28.6%	30.0%	27.5%
〔△○○〕型項目数	0	1	85	16	16	31	4	5	158
〔△○○〕型二字漢字 表記語内比率	0.0%	12.5%	34.0%	24.6%	29.1%	43.1%	28.6%	50.0%	33.1%
〔－○○〕型項目数	2	0	20	6	8	3	0	1	40
〔－○○〕型二字漢字 表記語内比率	66.7%	0.0%	8.0%	9.2%	14.5%	4.2%	0.0%	10.0%	8.4%
計	2	5	173	42	41	49	8	9	329
二字漢字表記語内比率	66.7%	62.5%	69.2%	64.6%	74.5%	68.1%	57.1%	90.0%	69.0%

こうして見れば、〔～○○〕型は二字漢字表記語全477項目中で329項目を占めて69.0%と大きな勢力であることが分かる。先掲表2で示したように『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型合計が159項目33.3%に留まることと比較すると、むしろ『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』という明治20年代前半期の2辞書両方に共通するものの多さが注目できる。

このことは明治17年に刊行された『英語節用集』の二字漢字表記語の多くがそのまま明治20年代前半の対訳辞書の見出しとしても用いられるような汎用性の高い訳語である一方、明治初期成立の『附音挿図英和字彙』第1版においては共通する訳語がまださほどに多くは見いだせないということを示す。

つまり、第一次英学書ブーム期の訳語と、第二次英学書ブーム期以降の訳語との間には大きな質的段差のようなものがあって、それがたかだか1000語にも満たない小辞典である『英語節用集』の語彙を通して見ても明らかに浮かび上がって来るのだと、そう考えるのである。

3-3-2 〔－○－〕型

全7項目を所収部別に示すと、次のようになる。ここではリストを挙げるに留める。

【宗 応】涅槃/Nirvana ← Nivana* 瑞 夢/Lucky-dream ← Luchy-dream*
土葬/Catacombs 【人官】仏陀/Buddha 【政法】少輔/Assistant vice minister
廃式/Modus-tollen 【堂処】仏堂/Budder

3-3-3 〔――○〕 型

全5項目を所収部別に示すと、次のようである。これもリスト掲出に留める。

【宗 応】良心/Moral sense ← Moralsence* 五官/Five-senses 悪念/Evil-thought
覚他/To lead consciousness of otherselves ← Tolead consciousness of otherselves* 【人官】賢者/Wise-man

3-3-4 〔―――〕 型

全21項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗 応】自覚/Self-consciousness 自利/Self-benefit 利他/Altruism
寺法/Canon-law ← Conon-Law* 虚霊/Spiritual existence 【人官】仏弟/Buddhist 演者/Speech-man 審吏/Justice of the peace
【政法】天権/Natural-right 徳権/Moral-right 法権/Legal-right
純権/Absolute-right 大 輔/Vice-minister 知 府/Governor of department
用式/Modus-ponens 【政 応】明許/Express-consent
大本/Fundamental-principle 自制/Self-control 自責/Self-reproach
自決/Self-determination 通理/Universal-truth

これらの中、一点鎖線の「自覚」・「利他^(註14)」・「虚霊」・「天権」・「徳権」・「法権」・「純権」・「用式」・「明許」・「大本」・「自制」・「自責」・「自決」・「通理」と多くのものが『英語節用集』刊行前に出版されている『哲学字彙』第Ⅰ版に収載されている項目であり、専門辞書から引き継いだ項目として他の3書にはなじみにくい性格を帯びていることが〔―――〕となった理由と推測される。

なお、「寺法」・「審吏」については『英語節用集』刊行直前に出版されている『哲学字彙』第Ⅱ版では「Canon-law 宗教律」、「Justice of the peace 典吏保安官」と立項されているものの別訳語があてられており、『英語節用集』が独自に取材したものとして注目出来る。

おわりに

今回の調査結果から、第一次英学書ブーム期の代表的な英和辞書である『附音挿図英和字彙』第Ⅰ版の復刻書である『写真石版附音挿図英和字彙』との訳語と、第二次英学書ブーム期以降の『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』と

の対応状況において、『英語節用集』の訳語が明らかに差異を生じているということが確認されたと言える。

今後は『附音挿図英和字彙』第Ⅱ版等との比較対照調査をも含めて、さらに対訳辞書世界を中心とした明治初期における日本語語彙の動向を追って行きたいと思う。

〈注〉

- 1 坂本（2006 a・2006 b・2007）ほか。
- 2 本稿においては、明治18年に輿論社が『附音挿図英和字彙』第Ⅰ版を縮刷写真石版して刊行したとする『写真石版附音挿図英和字彙』（家蔵本）を調査資料として用いた。以下特に断らない場合は、この輿論社版を『『附音挿図英和字彙』第Ⅰ版』に相当する資料と見なして論述を進めて行くこととする。
- 3 屋名池（1991）による。
- 4 例えば、菊地（1988）は『附音挿図英和字彙』が当代の最大級の対訳辞書である『和英語林集成』の英和の部所収訳語に与えた影響について報告している。
- 5 豊田（1963）には、その例として明治18年文学社版、明治18・19年新古堂縮刷版などが挙げられている。
- 6 『英語節用集』の底本として、本稿においては大阪府立大学（旧大阪女子大学）蔵本を使用した。辞書本体部は、次のように全8部合計914項目で構成される。
宗教及哲学論派名称：135項目 学術名称：61項目
宗教家応用語：284項目 人品及官位：160項目
政治及法制：123項目 政治家応用語：93項目
堂屋及処名：40項目 年代及歴史：18項目
上記8部の他に、付録相当の「各国政体及宗教」が末尾に添付される。本稿に掲げる表中では各部を「宗哲」「学術」「宗応」「人官」「政法」「政応」「堂処」「年歴」と略称する。
- 7 『英語節用集』の体裁は「仏教 Buddhism ブディズム」のように、日本語訳語・英字綴り・英語音形カタカナ表記の形式を取っており、日本語訳語は一項目について一語（句）の掲出となっている。また、所収部別の組織構成は下記の通りである。
- 8 坂本（2006 b・2007）。調査に使用したものは、『漢英対照いろは辞典』が『明治期国語辞書大系〔善2〕漢英対照いろは辞典』（1997 大空社 飛田良文ほか編）、『漢語英訳辞典』は九州大学蔵本である。
- 9 『漢英対照いろは辞典』と『漢語英訳辞典』については、見出し語に立項採択されている場合を〔○〕、そうでない場合を〔－〕とする。
- 10 「／」の後の英語語形は『英語節用集』の当該項目の英語見出しであるが、英語の後に①、②とあるものは、同書中において重複立項されている英語見出し項目であること

を示し、出現順に①、②と表した。なお、「*」符号を付したものはスペル等に関する編集ミスと見られる原態の綴りであり、矢印の前に訂正綴り形を稿者が付した。以下においても、同様に表示している。

- 11 『写真石版附音挿図英和辞彙』においては、当代の対訳辞書類にしばしば採用されていることであるが、辞書紙面スペース、ルビ用活字の節約措置として近辺の漢字に一度掲出したルビは同一漢字に繰り返して付さない方式が取られており、本稿でもそれを斟酌して当該ルビの語形を機械的に適用し判断している。
- 12 例えば、現代においても、『広辞苑』第5版の「伶人」項で「音楽を奏する人。特に雅楽寮で雅楽を奏する人。楽人。楽官。」と説明用の単語語形として「楽人」が先ず掲出されている。
- 13 坂本（2006b）において取り上げた。
- 14 『哲学字彙』第I版では「Altruism 利他主義」となっているが、「利他」を含むものとしてここに挙げておいた。

〈引用・参考文献〉

- 菊地 悟 (1988)『和英語林集成』第三版英和の部における新出語彙の典拠について (『生活学園短期大学紀要』11)
- 坂本浩一 (1994)：近代漢語の一側面 ―『漢語英訳辞典』に見られる二字漢語のサ変動詞用法をめぐって― (『語文研究』77号)
- 坂本浩一 (2000)：明治期対訳辞書と漢語辞書をめぐる一考察 ―『漢語英訳辞典』を中心に― (『香椎潟』46号)
- 坂本浩一 (2006a)：『英語節用集』をめぐって ―周辺主要辞書との所収部別対照調査報告― (国語語彙史研究会編 和泉書院刊『国語語彙史の研究 二十五』所収)
- 坂本浩一 (2006b)：明治期日欧言語交流史の一研究 ―『英語節用集』所収二字漢字表記語の『漢英対照いろは辞典』および『漢語英訳辞典』における収載状況をめぐって― (『香椎潟』52号)
- 坂本浩一 (2007)：明治期日欧言語交流史の一研究 ―『英語節用集』所収二字漢字表記語の『漢語英訳辞典』における収載状況をめぐって― (『文藝と思想』71号)
- 豊田 実 (1963)：『日本英学史の研究』新訂初版 千城書房
- 原口 裕 (1991)：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』 第2章 「単語集・会話集」
- 屋名池誠 (1991)：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英学資料選』 第1章 「綴字書・運筆書・横文字紹介書」